

# 研究協力のお願ひ

別府リハビリテーションセンターでは、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究について詳しくお知りになりたい場合、研究に診療情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご連絡ください。この掲示によるお知らせの後、診療情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<b>1. 研究課題名</b>	拡散型圧力波療法が脳卒中片麻痺患者の歩行能力に及ぼす影響
<b>2. 研究責任者</b>	所属：リハビリテーション部 A棟リハビリテーション課 職種：理学療法士 氏名：榊田 大生
<b>3. 研究の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究目的：脳卒中などの脳の病気によって筋肉がこわばる「痙縮」が発生します。これは日常生活動作、特に歩行や立ち上がりに大きな影響を与えます。痙縮に対する治療にはボツリヌス毒素療法などがありますが、新しい治療法として「拡散型圧力波療法（rESWT）」が注目されています。この療法は筋肉を直接刺激するのではなく、圧力波を用いて筋肉のこわばりを軽減する方法です。これにより、筋肉の動きを妨げずに痙縮を緩和することが可能となります。 今回の調査は、痙縮を有する脳卒中患者に対して rESWT を実施し、その効果を検証することを目的としています。参加者の歩行能力や筋肉のこわばりの改善を測定することで、この新しい療法がどの程度有効であるかを検証します。</li><li>・研究期間：2024年12月1日～2027年3月31日</li><li>・対象となる方：2024年12月から2027年3月までの期間に当法人回復期リハビリテーション病棟に入院した痙縮を有し、自力歩行が可能な脳卒中患者（医師より rESWT の指示が出ている患者）</li><li>・研究に利用する情報等：性別、年齢、Modified Ashworth Scale（MAS）、歩行速度、歩幅、Trailing Limb Angle（TLA）、表面筋電図、Active Range of Motion</li><li>・研究に情報を使用されることについて、ご了承いただけない場合には研究対象とは致しませんので2027年5月31日までに以下の「問い合わせ先」までお申し出ください。</li></ul>
<b>4. 問い合わせ先</b> （対応時間：平日 8：20～17：20）	所属：リハビリテーション部 A棟リハビリテーション課 職種：理学療法士 氏名：榊田大生 住所：〒874-8611 大分県別府市鶴見 1026-10 電話番号：0977-67-1711

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。